

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年9月27日(2024.9.27)

【国際公開番号】WO2023/140265

【出願番号】特願2023-575261(P2023-575261)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00(2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月5日(2024.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

患者に形成された穿刺部位を圧迫するように構成された押圧部材と、

前記押圧部材と接続可能に構成された第1帯体と、

前記押圧部材と接続可能に構成された第2帯体と、を備え、

前記押圧部材は、支持部材と、前記支持部材に固定され、前記穿刺部位を圧迫するように構成された押圧部と、を有し、

前記支持部材は、前記押圧部が配置された第1領域と、前記第1領域よりも外側に位置し、前記第1帯体及び前記第2帯体が接続可能に構成された第2領域と、を有し、

前記第2領域は、前記第1帯体が接続可能に構成された第1孔部と、前記押圧部を挟んで前記第1孔部と対向する位置に位置し、前記第2帯体が接続可能に構成された第2孔部と、を備え、

30

前記第1孔部及び前記第2孔部は、前記押圧部側に向かって突出する複数の凸部を有する、止血器具。

【請求項2】

前記第1孔部は、第1側面と、前記第1側面よりも前記押圧部から離間した側に位置し、前記複数の凸部を備える第2側面と、を有し、

前記第2孔部は、第3側面と、前記第3側面よりも前記押圧部から離間した側に位置し、前記複数の凸部を備える第4側面と、を有し、

前記第2側面及び前記第4側面は、前記複数の凸部のうちの隣り合う凸部の間に形成された間隙部を備える、請求項1に記載の止血器具。

【請求項3】

40

前記凸部は、前記凸部の頂点を含む中央部と、前記中央部と前記間隙部とを繋ぐ連結部と、を備え、

前記連結部は、前記中央部から前記間隙部に向かって傾斜している、請求項2に記載の止血器具。

【請求項4】

前記第1孔部に位置する前記複数の凸部の各々の前記中央部の少なくとも一部と、前記第2孔部に位置する前記複数の凸部の各々の前記中央部の少なくとも一部は、それぞれ同一の仮想円上に位置する、請求項3に記載の止血器具。

【請求項5】

前記凸部は、台形形状であり、

50

前記中央部は、直線状の平面部を備える、請求項 3 又は請求項 4 に記載の止血器具。

【請求項 6】

前記連結部の長さは、前記第 1 帯体の厚み及び前記第 2 帯体の厚みよりも長い、請求項 3 又は請求項 4 に記載の止血器具。

【請求項 7】

前記間隙部の幅は、前記凸部の幅よりも小さい、請求項 2 に記載の止血器具。

【請求項 8】

前記凸部の幅は、前記第 1 帯体の幅及び前記第 2 帯体の幅よりも小さい、請求項 2 に記載の止血器具。

【請求項 9】

前記第 1 孔部側及び前記第 2 孔部側から前記押圧部側に向かう前記凸部の高さは、前記第 1 帯体の厚み及び前記第 2 帯体の厚みよりも大きい、請求項 2 に記載の止血器具。

【請求項 10】

前記凸部は、前記押圧部側に延びる基部と、前記基部よりも前記押圧部側に位置し、前記基部よりも大きな幅を備える係止部と、を有する、請求項 2 に記載の止血器具。

【請求項 11】

前記第 1 側面と前記第 2 側面の間の距離、及び前記第 3 側面と前記第 4 側面の間の距離は、前記支持部材の基端部側から前記支持部材の先端部側に向けて次第に大きくなっている、請求項 2 に記載の止血器具。

【請求項 12】

前記押圧部材と接続可能に構成された第 3 帯体を有し、

前記第 2 領域は、前記支持部材において前記第 1 孔部及び前記第 2 孔部と異なる位置に位置する第 3 孔部を有する、請求項 1 に記載の止血器具。

10

20

30

40

50